

DAFTAR ISI

	Halaman
KATA PENGANTAR	i
DAFTAR ISI.....	v
 BAB I PENDAHULUAN	
1.1 Latar Belakang Masalah	1
1.2 Pembatasan Masalah	4
1.3 Tujuan Penelitian	4
1.4 Metode dan Teknik Penelitian	4
1.5 Organisasi Penulisan	7
 BAB II LANDASAN TEORI	
2.1 Wanita Jepang Zaman Tokugawa	8
2.2 儒教 (<i>Jukyō</i>)	12
2.3 Macam-macam Aliran 儒教 (<i>Jukyō</i>) di Jepang	19
2.3.1 朱子学 (<i>Shushigaku</i>)	19
2.4 Para Ahli 儒教 (<i>Jukyō</i>)	21
2.4.1 藤原惺窩 (Fujiwara Seika)	22
2.4.2 林羅山 (Hayashi Razan)	23

2.4.3 貝原 益軒 (Kaibara Ekiken)	23
2.5 女大学 (<i>Onna Daigaku</i>)	24
2.5.1 Peranan Wanita Zaman Tokugawa	26

BAB III ANALISIS TOKOH FILM *ŌOKU~HANA NO RAN*

BERDASARKAN *JUKYOU*

3.1 安子 (Yasuko)	30
3.2 阿久里 (Aguri)	44
3.3 桂昌院 (Keishouin)	46
3.4 右衛門佐 (Emonnosuke)	53
3.5 お伝 (Oden)	60
3.6 染子 (Someko)	61
3.7 信子 (Nobuko)	64

BAB IV KESIMPULAN	66
--------------------------------	----

DAFTAR PUSTAKA	74
----------------------	----

LAMPIRAN 1 PEMERAN DI DALAM FILM	vii
--	-----

LAMPIRAN 2 RINGKASAN CERITA FILM	xii
--	-----

SINOPSIS	xxxv
----------------	------

RIWAYAT HIDUP PENULIS	xxxviii
-----------------------------	---------

要約

序論

今も昔も会社における女性の役割は変化していないようである。確かに今の日本では会社や政府機関において働く女性が多くなっているしかし、結婚した女性は家の仕事もしなければならない。家の仕事は子の養育、家の掃除、夫に仕えること、料理を作ることなどがある。

観察してみると、今の日本と昔の日本の女性の役割はあまり変わらないのである。特に徳川時代の女性は結婚したら、子を産み、子を養育し、夫に仕え、夫の言うことを聞かなければならないのである。子を産めない、女性は実家に戻されるのである。

徳川時代における儒教は大きな影響力を持っていたのである。会社生活のあらゆる局面に影響を及ぼしているのである。したがって社会における女性の役割もこの影響を受けていたのである。

本論文では、徳川時代において、儒教の影響の下で、女性の役割がいかなるものであったかを詳しく研究分析してみる。研究分析を進めるにあたっては、映画「大奥～華の乱」に描写されるものに基き、記述的アプローチを使うことにする。

本論

徳川時代または江戸時代は、1600～1868年までの時代を言う。当時代では、行政、社会生活、家族生活に対して儒教が大きな影響力を乃ぼしているのである。儒教には、五つの基本的な人間関係を規律する五つの徳目、すなわち父子の視、君臣の義一、夫婦の別、長幼の序、盟友の信がある。これが五輪というものである。

儒教は陽明学、古学、朱子学という三つの巡にわかれている。徳川時代では朱子学を国の思想にしていたのである。朱子学には、宇宙哲学。人間の基本的な性質、道德の理論が含まれている。

徳川時代では儒教の専門家がたくさんいたのである。その一人として貝原 益軒がいる（1630－1714）。貝原 益軒は女性が行うべき道德の手引、女大学を書いた人間である。

女大学の中に三従四徳の教えがあり、それは女性は父に従い、嫁しては夫に従い、老いては子に従うことである。また、この本には、女性が敲殺される七つの理由が書かれている。それらは、舅及び夫に従わないこと、子を産まないこと、邪堆を持ち、嫉妬を持つこと、癩病あるいは悪臭を放つ病を持つこと、よくしゃべりこと、アヘンを常用すること、盗みを層やくことである。つまり、徳川時代では、理想的な妻というのは、女大学に書かれていることを基本的な生活基準を守るものである。

「大奥～華の乱」の映画の中では女性たち（安子、阿久里、桂昌院、

右衛門佐、お伝、染子、信子) は五常あるいは五輪ふび三従四徳に従って生きていたのである。

結論

映画「大奥～華の乱」をみて、徳川時代における女性は儒教の教えに基づいて書かれた女大学という女性の生活手引のようなものに従って生きていたようである。それに従うことによって、理想的な女性になろうとしていたのである。

RIWAYAT HIDUP PENULIS

Nama : Yosifa Marlina

Alamat : Komp. BPI blok N no. 4 Cilegon-Banten 42412

Tempat/ Tanggal Lahir : 18 Maret 1986

Riwayat Pendidikan

1990-1991 : TK Mardi Yuana Cilegon

1992-1997 : SD Mardi Yuana Cilegon

1998-2000 : SLTP Mardi Yuana Cilegon

2001-2003 : SMAN2 Krakatau Steel Cilegon

2004-2009 : Universitas Kristen Maranatha Jur. Sastra Jepang Bandung